

景観デザインガイドラインと景観協定（案）

景観ガイドライン（目標）

（１）民地デザイン

- ①屋根：形状・材料
- ②外壁：色彩
- ③開口部：意匠
- ④下屋庇
- ⑤オーニング
- ⑥看板建築
- ⑦シャッター
- ⑧設備機器
- ⑨サイン・看板（昼）
- ⑩駐車場・車庫
- ⑪付属屋
- ⑫塀・門・擁壁・前庭

（２）公共空間活用

- ①川床：大きさ・素材・色彩
- ②道路

（３）夜間景観

- ①あかりの色
- ②点灯時間
- ③樹木ライトアップ
- ④オリジナル提灯
- ⑤まちのシンボル
- ⑥サイン・看板（夜）

（４）もてなしシーン

- ①シーンづくり
（利活用系・もてなし系）
- ②建物を道に開く
- ③地先公共空間の活用
- ④もてなしアイディア
- ⑤あかりの作り方
- ⑥がっかりするもの、
やめたいもの

景観協定（法規制）

（１）用途：湯本

→性風俗・ギャンブルは×
（夜間営業は○）

（２）サイン・看板（昼・夜）：3地区

※山口屋外広告物条例を調査
→自主・非自主広告
→動くサインージ広告（映像・文字）
電飾看板（動くもの）

（３）外部あかりの色：湯本+門前

→3000K以下



協定委員会にて景観ガイドラインと景観協定を運営

- ・協定者（理事数名）
- ・専門家（2～3年はデザインチーム+設計者・施工者WSから）